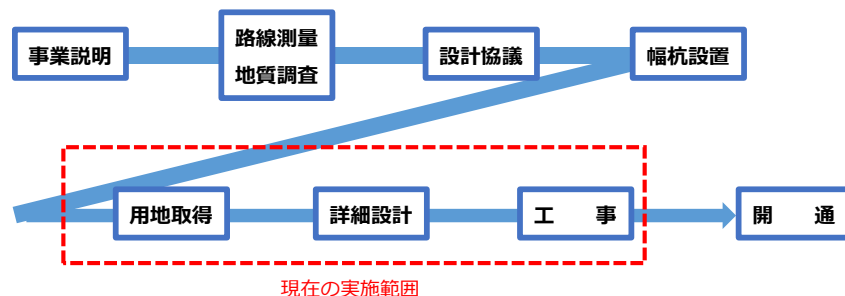


高速道路ができるまで

高速道路は、ある日突然つくられるものではありません。交通の混雑解消や地域の安全向上、産業の発展などを目的に、国や自治体が必要性を検討するところから始まります。計画が進むと、地形や地質、周辺環境への影響などを調査し、地域の皆さんの意見も聞きながら、最適なルートや構造を決めていきます。その後、道路をつくるための土地を取得し、工事が始まります。

工事では、道路本体の整備だけでなく、橋やトンネルなども段階的につくられます。完成までには長い年月がかかることもあります。完成後は、安全に走行できるかを入念に確認し、基準を満たしてから開通します。高速道路は、多くの人の手と時間をかけて、私たちの暮らしを支えています。



東海北陸道4車線化事業PR館 みらい館・みらい茅の紹介

みらい館では、4車線化工事の内容を模型や映像でわかりやすく紹介しています。

みらい茅では、建設現場で使われている最新技術を、映像や体験型展示で紹介しています。

お子さまから大人まで、楽しみながら学べる展示です。



「来館見学のお知らせ」

- ・入館無料
- ・事前予約制
- ・所在地

富山県南砺市菅沼855
(旧・五箇山生活館)



予約はこちら

編集後記

梅雨の季節になりました。雨の日が続きますが、紫陽花などこの時期ならではの楽しみも感じたいですね。

気づけば6月、今年も折り返しです。ちょっとした気分転換になればうれしいです。

雨にも暑さにも負けず、ぼちぼちいきましょう。次号もお楽しみに！



田尻橋（上部工）施工

平素より、NEXCO中日本の高速道路事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、NEXCO中日本 高岡工事事務所が担当する東海北陸自動車道の4車線化事業についての広報誌「東海北陸 4車線化レポート」を発刊するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当事務所では、東海北陸自動車道 白川郷IC～小矢部砺波JCTまでの全長42.6kmのうち、暫定2車線の対面通行を行っている37.0km区間の4車線化を担当しております。現状では、自然災害や交通事故などにより通行止めが生じる可能性があります。4車線化することにより安全性の向上が図られるとともに、災害時における緊急物資輸送や中京圏と北陸方面間の代替的な移動手段としての道路機能の維持に寄与することが期待されます。

今後も工事の安全最優先のもと、早期完成を目指して着実に進めてまいります。工事期間中は何かとご不便をおかけすることもあるかと存じますが、引き続き皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



高岡工事事務所
所長 唐澤 剛

東海北陸自動車道（白川郷IC～小矢部砺波JCT）4車線化工事の状況

現在、4車線化事業はトンネル延長6kmの袴腰トンネルをはじめ、4本のトンネルと11橋梁を施工しています。安全を最優先に各工区で工事を本格的に進めています。引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

城端・袴腰工区

福光IC～五箇山IC間の2トンネル（城端トンネル、袴腰トンネル）の拡幅、および1橋梁の区間です。この2トンネルは供用線で大規模な事故などがあった場合に、お客様が安全に避難できるように、避難経路の機能を保持しながら避難坑を拡幅しています。現在、城端トンネルで約2,300m、袴腰トンネルで約1,400mまで掘り進めています。



城端トンネル 掘削状況



五箇山橋（下部工）施工



福光工区

南砺SIC～福光IC間の土工と6橋梁が連続する区間です。盛土は概ね仕上がりしました。現在は下部工から上部工に施工が進み、大型クレーン等による上部工の架設を進めています。完成に向けて標識や舗装工事の設計も行っています。



竹林高架橋（上部工）施工

白川工区

五箇山IC～白川郷IC間は橋梁とトンネルが連続する急峻な山間となり、この区間で8橋梁と6トンネルの工事を行う予定です。工事箇所へのアクセスができない箇所については工事用道路工事を施工しています。

現在、椿原トンネルで約900m、有家ヶ原トンネルで約350mまで掘り進めています。

4月21日に有家ヶ原トンネル北坑口が貫通しました。



シクタンナ橋、ゾウソウ橋（下部工）施工